

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	温熱感小委員会		主 査 名：齋藤 輝幸 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主 査 名：尾崎 明仁
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	温熱感に関わる研究促進、学術規準の改定・策定に関わる検討、情報発信を行う。 ・初年度：規準・解説書の改定検討、最近の研究動向把握、温熱的快適域に関する基礎資料整理 ・2年度：シンポジウム等の開催検討		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：齋藤輝幸(名古屋大学) 幹事：山岸明浩(信州大学)、高田暁(神戸大学) 委員：都築和代(豊橋技術科学大学)、久野 覚(名古屋大学)、久保博子(奈良女子大学)、 松原齋樹(京都府立大学)、田辺新一(早稲田大学)、室 恵子(足利工業大学)、 土川忠浩(兵庫県立大学)、宮本征一(摂南大学)、三上功生(日本大学)、後藤伴延(東北大学)、中野淳太(東海大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	・温熱環境規準 WG：室内温熱環境測定法等の学術規準の改訂について検討する。 ・温熱環境情報発信 WG：我が国における温熱環境研究の最近の動向調査および評価と、将来の研究方向性の検討を行う。 ・熱的快適域検討 WG：温熱的快適域に関する基礎資料を整理するとともに、現状の快適域に関する考え方について検討する。		
2018 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 学術規準の改定に関する検討を行った。 2. 温熱感・熱的快適域研究に関連する研究分野の情報収集を行った。 3. 第 47 回熱シンポジウムにおける議論を受けて更に検討を加え、温熱環境と健康に関する今後の展開について検討した。
委員会活動の問題点・課題	問題点：大会時に委員会の開催場所を確保できないのは大変困る。 課題：小委員会として健康問題に対応した活動が必要である。

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>シンポジウム等の開催には至らなかったものの、温熱感・熱的快適域研究に関連する研究分野の情報収集を行うと共に、本小委員会が関連する 2 つの学術規準について改定の必要性を検討した。また、温熱環境と健康に関する諸問題を考える WG を新たに立ち上げることとし、次年度の大会時における OS を計画するなど、温熱感分野の研究を促す活動を行うことができた。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。